



新生GTのデビュー戦 初優勝!!

2014 SUPER GT 第1戦 「OKAYAMA GT 300KM RACE」岡山国際サーキット

21年目を迎えたスーパーGTは、大幅にレギュレーションが変更し、GT500は走りや戦略などで大きな変化が求められるシーズンとなった。そんなスーパーGTの新たな歴史の幕開けとなったデビュー戦で優勝を獲得した#37 LEXUS TEAM KeePer TOM'S RC F。全てのメーカーが0からのスタートとなる予測不可能なレースの初戦を制するというとてつもない快挙を成し遂げた。

SC430からRC Fへ。
昨年引き続き、伊藤選手&カルダレリ選手が闘う

今年もスーパーGTがサーキットに帰ってきた。2014年シーズンはスーパーGT大変革の年となり、将来的なグローバル化を目指してDTM（ドイツツーリングカー選手権）と車両規則を統一することとなった。その結果、3メーカーともが新車へのスイッチを余儀なくされることになり、昨年より体制を継続する「EXCIS TEAM KeePer TOM'S」もマシンをレクサス陣営の新車「RC F」に変えて1年を戦う。

2014年もドライバーは変わらず、伊藤大輔とアンドレア・カルダレリの2人が2年目の初優勝、さらにはシリーズ優勝を目指して戦っていくことになる。

4月5日(土)予選
Q1はトップタイムで通過!!
 気温が10度を下回る花冷えのなか迎えた土曜日、今シーズン最初の予選と

なる午後は、路面温度は低いものの心配された天候は崩れず、ドライコンディションのまま。事前テストで伊藤大輔がマシンの調子は良いと感じていたとおり、まずはQ1をトップタイムで通過、早速の好結果に大きな期待をもってQ2へ。

5番手で決勝へ!
 決勝のグリッドを決めるQ2では、アンドレア・カルダレリにステアリングを託し、渾身のアタックをかけたタイムを更新するもGT500クラスは全車がコースレコードという驚愕の戦いとなり、トップから0.4秒差の5番手タイム。同順位から翌日のスタートを切る。

4月6日(日)決勝
目の覚める走り
一気に2番手へ!
 開幕戦決勝日は、前日を超える寒さで雪や雨がばらつく中、朝の練習走行はウェットコンディション、各車レインタイヤで最終調整を終える。そして午後2時、天候が回復し注目

の決勝スタートはドライコンディションの中まずはアンドレア・カルダレリがファーストドライバーを務め、5番手からスタートを切る。激しいコーナーの争いに、37号車は一時7番手と表示されるも、オープニングラップの混乱を切り切り、4番手でメインストレートに戻ってきた。

ポジションをアップした勢いそのままに2周目で前を行く12号車をオーバーテイクし3番手表彰台圏内へ。さらに勢いは増し、トップ2台を猛追していく。



レースを繰り広げるなか、20分程進んだ頃から雲行きが怪しくなり、19周目にはついにコース上にも雨粒が落ちてくる。これが禍いしたのか、1つ前を走る46号車のペースが鈍り、翌20周目に追いついた37号車が一気に抜き去り2番手へ浮上！いよいよ優勝が視界に入ってきたが、初勝利への道のりが簡単ではないことをここからの中盤戦で知ることになる。雨が激しくなるコース上、ハードタ

イヤを選択した37号車と違いソフトタイヤでPPを取りに行った6号車がベースをやや落とす中、反対にベースを保ちテールトゥノーズの状態に。一進一退を繰り返しながら37周目に先に37号車がピットイン、ピット戦略を絡めながらトップ浮上を狙う。

シフトの入らない6号車の
一瞬の隙をひらいてピットイン!!

ピットへ飛び込んできた37号車はタイヤ交換・給油と共に伊藤大輔にドライバーを交代。ほとんどタイム差のなかった両車がピット作業を済ませた後、タイヤの冷えた6号車を追いかけて37号車だが思うようにタイヤが温まらず、8秒以上の大差が！実は先に入った37号車はピットインをする際に300クラスのマシンとタイムミッドが重なり、ピットロードで大幅にタイムロスをしてしまっていた。

しかし経験で勝る伊藤大輔はそこからタイヤを労わりながらジワジワとタイム差を削っていき、51周目にはトップの後方にピッターとつけ、300クラスのマシンを利用して横に並びかける！そして遂に55周目、トップを行く6号車のシフトが入らなくなつた一瞬の隙をついてトップの座を奪い取ることに成功した!!

ついに、チーム待望の
トップチェッカー!!

その後も伊藤大輔はベテランらしい落ち着きを見せて、後続との差を保ったまま走行を重ね、遂にLEXUS TEAM KeePer TOM'S 5号車は待望のトップチェッカーの瞬間を迎えた。



DRIVER'S INTERVIEW



伊藤 大輔 (いとう だいすけ)
 開幕戦、しかも新規のマシンで最初に優勝することができて最高です。素晴らしい走りをしたアンドレア、短時間でここまでマシンを仕上げてくれたLEXUS Racing、マシン開発担当のTRD、新サイズのタイヤに対応してくれたブリヂストン、そしてこの2ヶ月間、毎日徹夜に近い状態でマシンを組み上げてくれたTOM'Sスタッフ。皆に感謝です。この調子で2014年のスーパーGTを盛り上げていきたいと思います。今シーズンも応援よろしくをお願いします。



アンドレア・カルダレリ
 本当に完璧な週末でした。昨日の予選から決勝を見据えたタイヤ選択ですべて上手くいきました。僕のスタント序盤はタイヤが温まりにくく慎重に行きましたが、そこからはペースがとてよく、12号車とのバトルも楽しめました。ピットストップも早く、ダイスケも良い仕事してくれました。ここまで時間はかかり、このニューマシンでのテストも少ない中、素晴らしいマシンを作ってくれたTOYOTA、TRD、そして僕達のクルーに心から感謝しています。開幕戦で一勝を挙げられ、誇りに思いますし、これからのシリーズがますます楽しみになりました。

2014年度スーパーGT スケジュール

第1戦 岡山国際サーキット	公式予選	4/5(土)	決勝	4/6(日)
第2戦 富士スピードウェイ	公式予選	5/3(土)	決勝	5/4(日)
第3戦 オートポリス	公式予選	5/31(土)	決勝	6/1(日)
第4戦 スポーツランドSUGO	公式予選	7/19(土)	決勝	7/20(日)
第5戦 富士スピードウェイ	公式予選	8/9(土)	決勝	8/10(日)
第6戦 鈴鹿サーキット	公式予選	8/30(土)	決勝	8/31(日)
第7戦 プリラム ユナイテッドインターナショナルサーキット(タイ)	公式予選	10/4(土)	決勝	10/5(日)
第8戦 ツインリンクもてぎ	公式予選	11/15(土)	決勝	11/16(日)

スーパーGTとは
 スーパーGTは日本を代表する国内最高峰のモータースポーツイベント。市販されている車をルールに従って改造して競い合っている。1994年に全日本GT選手権として始まり、2005年にスーパーGTとして生まれ変わって今年で9年目を迎える。ひとり勝ちを許さない要素が盛り込まれ、それまでのレース結果に応じて次戦にハンディとしてウェイトを車両に搭載することが規定されている。これにより常に勝ち続けることが不可能となり、タイトル争いが最終戦までもつれることが多くなる。参戦車両はGT500クラスとGT300クラスとに区分され、メーカー開発・投入の高性能レーシングカーによる激しいバトルが展開される。

●スーパーGT 開幕戦の様子がYouTube でご覧いただけます。 [YouTube \[開幕戦優勝 キーパー\]](#) 検索

「#37 KeePer TOM'S RC F」を応援しよう! 企画 第1弾

5/31(土)・6/1(日)スーパーGT第3戦オートポリス(大分県) 観戦チケット(予選・決勝共通券)をペア20組40名様にプレゼント

キーパーコーティングをご愛顧の多くの皆様をスーパーGTにご招待します! 「KeePer TOM'S RC F」のピット前グランドスタンド席を陣取り、そりのキャップで盛り上がりましょう!

巻末のハガキにてふるってご応募ください!
【申込締切:5/12(月)】
 ※各会場までの交通費は各自負担をお願いします。
 ※当選者の発表は、発送をもって替えさせていただきます。
 ご了承ください。

この企画に関するお問合せは・・・アイ・タック技研(株) ☎ 0120-517-158